

創業時から大切にしている「Care」を広げて 人を、社会を、地球をケアする

株式会社ポーラ

株式会社ポーラは、「We Care More. 世界を変える心づかいを。」という行動スローガンを軸に、美容と健康の枠組みだけにとらわれず、多様な事業活動を実践しています。創業100周年を迎える2029年に向けて、グループすべての化粧品プラスチック容器・包材を100%、4Rに基づくサステナブル設計にする目標を設定。Reuse(繰り返し使用する)を主に、Reduce(使用量削減・部材の簡素化)、Replace(他素材に置き換える)、Recycle(再資源化)をブランド特性に即して、選択しながら体制を構築してきました。



創業100周年に向けた推進 サステナブルな事業活動を実践

株式会社ポーラは、ホテルアメニティ分野(バスアイテム・スキンケア品など)において、業界トップクラスのシェアを誇っています。訪日旅行客数が年々増大する中、2022年にプラスチック資源循環促進法が施行。ホテル、旅館、スパリゾートなど宿泊施設での環境意識が高まり、環境対応の商品需要は増加しました。

当社がリサイクル原料を使用するアメニティ商品は、再生PET素材100%を採用しております。その原料はFDA(米国食品医薬品局)に認定を受けた製造ラインで精製しており、従来の原油由来のPET樹脂と比較して、CO₂の排出量を約63%削減することが可能です。PETボトル協議会が認定する「PETボトルリサイクル推奨マーク」にも登録されております。

当然、デザイン性にもこだわって設計を行っており、従来のPET樹脂で難なくできる加工も、成型性・透明性、耐久面での試行錯誤を繰り返し、設計・開発しています。ポーラ・オルビスグループでは、2029年までにグループすべての化粧品プラスチック容器・包材について、4Rにもとづくサステナブルな設計に100%切り替えていくことを目指しております。

親子で「旅育」、リサイクルパズルに込めた想い

リサイクルプロジェクトとして、廃棄されるホテルアメニティ容器をリサイクル知育玩具に変え、ホテルに設置する取り組みを行っています。2024年7月より一部の提携ホテルに「リサイクル知育パズル」として順次設置。子どもの興味・関心を引き出す「旅育」をテーマに、6種の色と形状からさまざまなかたちを

表現できるパズルに触れ感性を刺激し、親子で遊びながら持続可能な社会について考える機会になればと願っています。

ステーキホルダーと共同で循環型プロジェクト 「つながりであふれる社会を創る」

親会社のポーラ・オルビスホールディングスは、同業他社と連携し、プラスチック製化粧品容器の循環型プロジェクト「BeauRing(ビューリング)」を開始。実証実験として2023年4月より横浜市内の10拠点で、使い終わったプラスチック製化粧品容器を収集し、資源としての循環モデルを検証しています。

事業成長と持続可能な社会実現の両立は、一筋縄でいかない局面もありますが、モノづくりをするメーカーの社会的責任として欠かすことはできないと考えます。今後も引き続き、「We Care More.」という行動スローガンを軸に、広い視野を持って、「お客さまの嬉しい」と「地球にやさしい」の両立に取り組んでまいります。

(取材日:2025年3月3日)



(左から)高橋氏、北原氏

B to B事業部 事業部長 北原 武雄
B to B事業部 管理・企画開発チーム 高橋 伸枝
ブランドコミュニケーション部 PR 山村 実香

株式会社ポーラ

本 社：東京都品川区西五反田2-2-3
創 業：1929(昭和4)年
設 立：1946(昭和21)年
従業員数：国内 1,365名(派遣含む)、現地法人 428名(派遣含む)
(2024年12月末時点)
URL：<https://www.pola.co.jp>



アメニティの容器を粉碎し、リサイクルパズル(写真左)に

